

刈谷知立環境組合中期計画ビジョン 基本理念、基本方針、施策、財政

第3回中期計画ビジョン策定委員会
令和7年1月23日 14:00～

項目

0. これまでの策定委員会について
1. 計画の体系について
(基本理念・基本方針・施策)
2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明
3. 財政計画について



0. 前回までの策定委員会について

第1回策定委員会 7月開催 「組合概要と長寿命化計画」

■ 委員会での意見と組合の対応

- ・ 国が示す廃棄物処理施設整備計画の方針を踏まえる
- ・ 他市町村からごみの流入を防ぐために有料化の検討が必要
- ・ 渋滞対策が必要
- ・ ごみ搬入量の減少の理由

基本理念に反映…	<input type="checkbox"/>
施策に反映…	<input type="checkbox"/>
その他…	<input type="checkbox"/>

第2回策定委員会 10月開催 「組合の現状と課題」

■ 委員会での意見と組合の対応

- ・ 長寿命化計画の適宜見直しが必要、施設点検における最新技術の導入検討
- ・ 家庭系ごみ受入れ時のワンストップ化
- ・ SNSを活用した情報発信の検討
- ・ 余熱ホールの利用者ニーズに適したサービス提供の充実と魅力発信方法の検討
- ・ 施設建設時における地盤面嵩上げ対策の安全性※参考資料 建設時地盤高の検討

0. 前回までの策定委員会について

第2回策定委員会（10月開催）

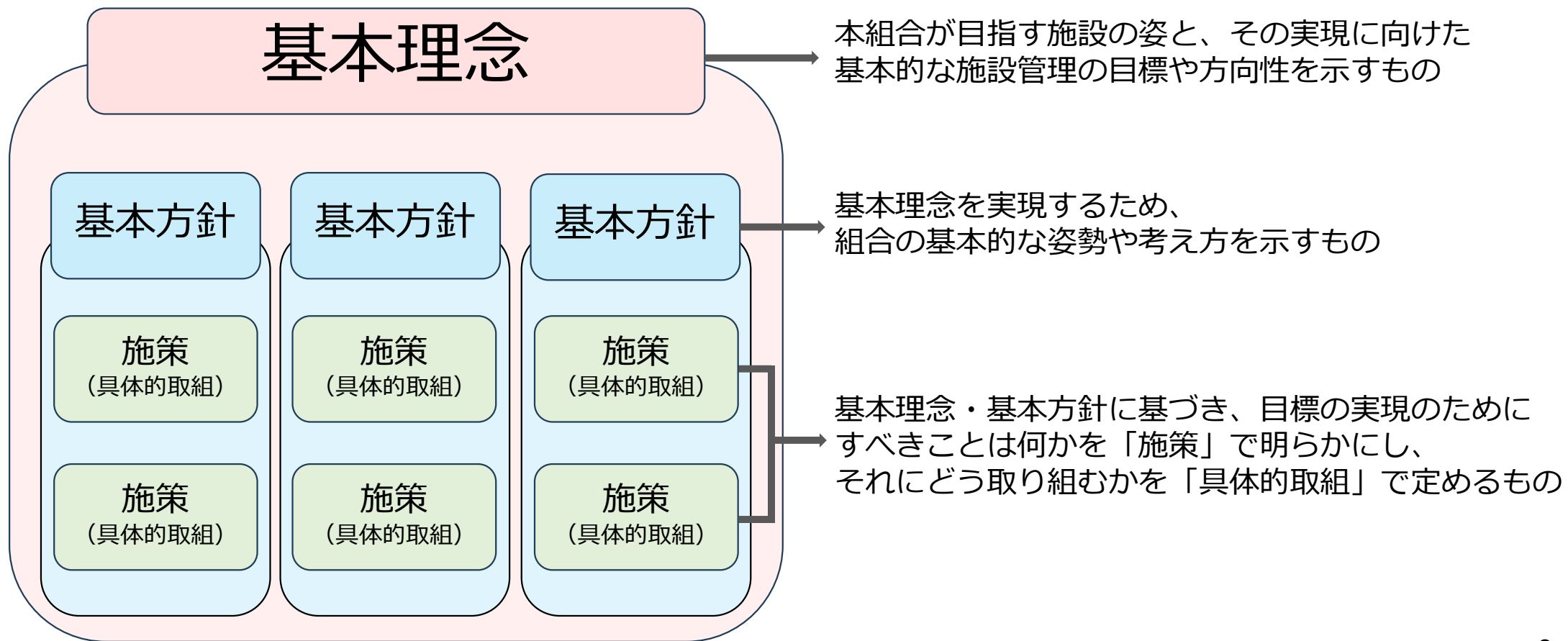
■ 検討議題のまとめ

目 標

1. 施設の**安全・安定的な**維持管理
2. ごみの**減量化**とリサイクルの**推進**
3. 温室効果ガスの**さらなる**削減
4. 災害時の対応の**強化**
5. 地元住民、構成市との**さらなる**連携
6. 住民サービスの**向上**
(余熱ホール、リサイクルプラザKC)
7. 組合の運営の**効率化**

1. 計画の体系について

1-1. 計画体系図



1. 計画の体系について

1-2. 基本理念について

これまでの方針

安定したごみ処理により、両市の環境への貢献や効率的な施設の運営管理を行っていくこと基本とした「**施設を安全（一つ目のA）に安定（二つ目のA）して稼働させることで安心（三つ目のA）を与える“AAA”**」を施設管理の目標としてきた。



廃棄物処理施設に求められること

環境省が策定した廃棄物処理施設整備計画の基本理念より・・・

- 1 基本原則に基づいた3Rの推進と循環型社会の実現に向けた資源循環の強化
- 2 災害時も含めた持続可能な適正処理の確保
- 3 脱炭素化の推進と地域循環共生圏の構築に向けた取組



中期計画ビジョンの基本理念

これからも廃棄物処理施設に求められる要求水準を満たし、安定した施設運営を維持していく必要がある。よって、本組合の新たな基本理念を

「安全・安定・安心の施設運営により循環型社会を支える刈谷知立環境組合」
とする。

1. 計画の体系について

1-3. 基本方針について

■ 施策目標を分類して基本方針を定める

1. 施設の安全・安定的な維持管理
2. ごみの減量化とリサイクルの推進
3. 温室効果ガスのさらなる削減
4. 災害時の対応の強化



基本方針 1

適切な施設運営による循環型社会の推進

5. 地元住民、構成市とのさらなる連携
6. 住民サービスの向上
(余熱ホール、リサイクルプラザKC)



基本方針 2

地域社会への貢献と
住民・構成市との連携の推進

7. 組合の運営の効率化



基本方針 3

効率的な組合運営の推進

1. 計画の体系について

1-4. 計画の全体像について

基本理念	基本方針	施策	具体的取組
安全・安定・安心の施設運営により循環型社会を支える 刈谷知立環境組合	1 適切な施設運営による循環型社会の推進	1 廃棄物処理施設の安定的な維持管理	1 包括的運営管理業務委託による施設運営の継続 2 第三者モニタリングの定期的な実施 3 基幹的設備改良工事の実施による長寿命化の推進 4 搬入車両の渋滞対策 5 焼却灰の処分先確保
		2 ごみの減量化・リサイクルの推進	6 ごみの分別搬入の周知徹底 7 直接搬入されるごみの有料化の検討 8 ごみの資源化の推進（リサイクル品目、焼却灰の再資源化）
		3 温室効果ガスの削減・エネルギーの有効活用	9 CO ₂ 削減に資する機器導入の検討 10 発電電力の有効利用の継続
		4 災害時対応の強化	11 災害時におけるグラウンド利用の検討 12 災害時を想定した訓練の継続と計画の見直し
	2 地域社会への貢献と住民・構成市との連携の推進	5 地元住民、構成市との連携	13 地元住民との協力・連携 14 構成市との協力・連携
		6 住民サービスの向上（余熱利用施設、リサイクルプラザKC）	15 余熱利用施設の長寿命化の推進 16 指定管理者制度の活用による利用者サービスの向上 17 モニタリング制度の強化による管理水準の維持 18 リサイクルプラザのPRによる利用促進
	3 効率的な組合運営の推進	7 組合の運営の効率化	19 組合職員の育成と技術継承 20 デジタル技術を利用した業務の省力化、効率化 21 健全な財政運営の推進

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針 1 適切な施設運営による循環型社会の推進

基本方針	施策	具体的取組
1 適切な施設運営による循環型社会の推進	1 廃棄物処理施設の安定的な維持管理	1 包括的運営管理業務委託による施設運営の継続 2 第三者モニタリングの定期的な実施 3 基幹的設備改良工事の実施による長寿命化の推進 4 搬入車両の渋滞対策 5 焼却灰の処分先確保
	2 ごみの減量化・リサイクルの推進	6 ごみの分別搬入の周知徹底 7 直接搬入されるごみの有料化の検討 8 ごみの資源化の推進（リサイクル品目、焼却灰の再資源化）
	3 温室効果ガスの削減・エネルギーの有効活用	9 CO ₂ 削減に資する機器導入の検討 10 発電電力の有効利用の継続
	4 災害時対応の強化	11 災害時におけるグラウンド利用の検討 12 災害時を想定した訓練の継続と計画の見直し

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策1 廃棄物処理施設の安定的な維持管理

取組①	包括的運営管理業務委託による施設運営の継続
内 容	<ul style="list-style-type: none">● 運営事業者の持つノウハウや創意工夫を活用し、安定した施設の運営管理を効率的・効果的に実施できる「包括的運営管理業務委託」を継続します。● 包括的運営管理業務委託の効果を最大限に引き出すため、発注方法や契約期間等について、これまでの実績を検証しつつ、最適な手法を検討します。
取組②	第三者モニタリングの定期的な実施
内 容	<ul style="list-style-type: none">● クリーンセンターの運営管理業務に対して、有識者等を含めた第三者機関による中立的・専門的見地での第三者モニタリングを定期的の実施し、運営事業者の適正な評価・指導を行うとともに、組合職員によるモニタリング機能の低下を予防します。● 第三者モニタリングの成果を踏まえて、組合モニタリング実施基準の見直しを行います。

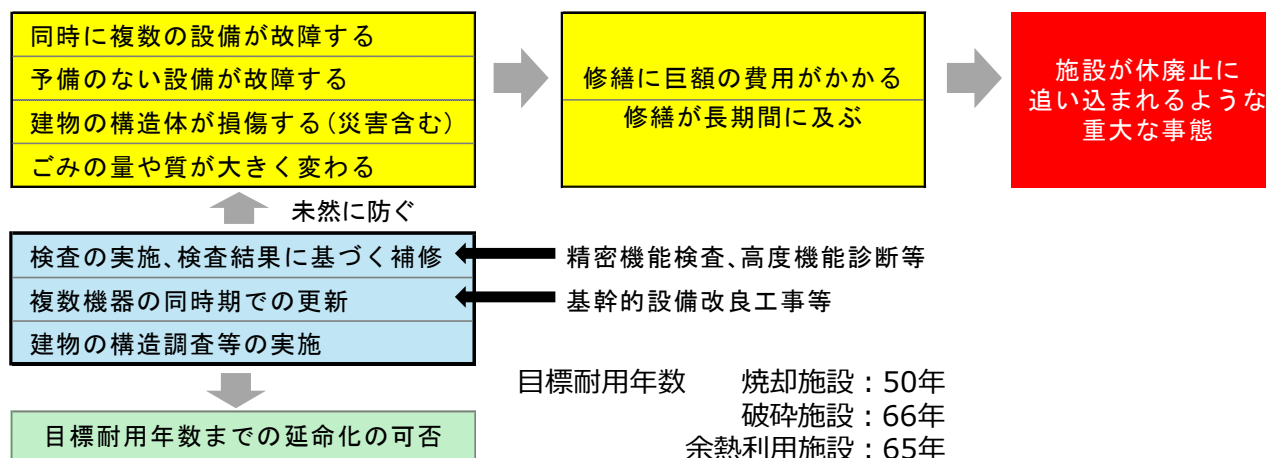
2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針 1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策 1 廃棄物処理施設の安定的な維持管理

取組③	基幹的設備改良工事の実施による長寿命化の推進	参考資料【取組③】
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な保全方式による維持管理や基幹的設備改良工事の実施により施設の延命化を図り、公共施設等長寿命化総合計画で定めた目標耐用年数までの安定稼働を目指します。 ●先端技術を活用した機能診断を定期的の実施し、設備機器等の劣化状況を的確に把握するとともに、必要に応じて長寿命化総合計画の見直しを図ります。 	

参考：施設目標年数を検討する手順



2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策1 廃棄物処理施設の安定的な維持管理

取組④	搬入車両の渋滞対策	参考資料【取組④】
内 容	<ul style="list-style-type: none">●多様な手段（ホームページ・LINE等のSNS・キャッチネットワークとの連携）による情報提供を適時適切に行い、クリーンセンターの繁忙期における場内の車両渋滞の緩和や周辺道路への影響を軽減します。●繁忙期における優先車両の経路短縮化や誘導員の配置など、場内の車両混雑の緩和策を継続するとともに、粗大ごみ置き場に可燃ごみ置き場を設置する「ワンストップ受付」等の導入を検討します。	
取組⑤	焼却灰の処分先確保	参考資料【取組⑤】
内 容	<ul style="list-style-type: none">●災害や事故等による焼却灰の処分・資源化施設の受入停止で灰の搬出ができなくなることを回避し、安定した運営を継続するため、搬出に係るコストを検証しつつ、リスク分散のために複数の処分先の確保します。	

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策2 ごみの減量化・リサイクルの推進

取組⑥	ごみの分別搬入の周知徹底	参考資料【取組⑥】
内 容	●構成市と協力し、ごみの分別搬入の周知徹底を行うとともに、ごみの減量とリサイクルを推進します。	
目標値	令和17年度までに、1人1日当たりの家庭系ごみを11%削減（令和3年度基準）	
取組⑦	直接搬入されるごみの有料化の検討	
内 容	●直接搬入される家庭系ごみの有料化及び事業系ごみの処理手数料の改定をし、ごみの減量化と費用負担の公平性の確保を目指します。ごみ処理手数料の価格改定については、近隣市町村の動向を踏まえて適切な価格設定を検討します。 ●ごみの有料化を含む手数料の改定により、搬入台数減少による渋滞の緩和や自主財源の増加といった副次的な効果を同時に検証します。	

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策2 ごみの減量化・リサイクルの推進

取組⑧	ごみの資源化の推進（リサイクル品目・焼却灰再資源化） 参考資料【取組⑧】
内 容	●クリーンセンターに搬入されるごみの資源化について、既存のリサイクル品目の見直しを行うとともに、新たなリサイクル品目の追加を検討します。 ●焼却灰の再資源化を推進します。
目標値	再資源化率を段階的に増やし、令和17年度までに焼却灰の再資源化率40%を目指す。

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策3 温暖効果ガスの削減・エネルギーの有効活用

取組⑨	CO ₂ 削減に資する機器導入の検討	参考資料【取組⑨】
内 容	<ul style="list-style-type: none">●基幹的設備改良工事の実施やLED照明等の省エネルギー機器の導入により二酸化炭素の排出抑制を推進します。●構成市の環境施策の取り組みに合わせて、太陽光発電設備の設置や環境対応車の導入等に努めます。	
目標値	令和11年度までに、CO ₂ 排出量15%削減（平成25年度基準）	
取組⑩	発電電力の有効利用の継続	
内 容	<ul style="list-style-type: none">●ごみ焼却による発電電力の場内利用や刈谷知立みらい電力を通じた再生可能エネルギー電力の地産地消への取組を継続することにより、脱炭素化を推進します。	
目標値	現状の発電効率をできる限り維持する。 (令和5年度 可燃ごみ1tあたりの発電量461kwh)	

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針1 適切な施設運営による循環型社会の推進

施策4 災害時対応の強化

取組⑪	災害時におけるグラウンド利用の検討
内 容	<ul style="list-style-type: none">●大規模な災害発生後に出る大量の災害廃棄物を円滑に処理するため、グラウンドの有効利用について、構成市と検討します。●災害時におけるグラウンドの通常利用の停止や一般車両の受入れ停止等の対応に関する運営方針を整備します。
取組⑫	災害時を想定した訓練の継続と計画の見直し
内 容	<ul style="list-style-type: none">●大規模災害を想定した各種訓練を継続して実施し、必要に応じて訓練内容の見直しや、組合の「事業継続計画（BCP）」の見直しを行い、災害時の対応力の強化を図ります。●関係団体の実施する図上訓練や伝達訓練へ継続して参加します。

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針2 地域社会への貢献と住民・構成市との連携の推進

基本方針	施策	具体的取組
2 地域社会への貢献と 住民・構成市との連携の推進	5 地元住民、構成市との連携	13 地元住民との協力・連携 14 構成市との協力・連携
	6 住民サービスの向上 (余熱利用施設、リサイクルプラザKC)	15 余熱利用施設の長寿命化の推進 16 指定管理者制度の活用による利用者サービスの向上 17 モニタリング制度の強化による管理水準の維持 18 リサイクルプラザのPRによる利用促進

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針2 地域社会への貢献と住民・構成市との連携の推進

施策5 地元住民・構成市との連携

取組⑬	地元住民との協力・連携
内 容	<ul style="list-style-type: none">●近隣地区へ施設の運営状況等を報告する環境保全対策協議会を継続して開催することで、住民の理解を深めます。●小学生をはじめ、市民向けの施設見学を継続して実施することで、施設の役割やごみ分別等の取り組みの重要性の周知啓発を図ります。
取組⑭	構成市との協力・連携
内 容	<ul style="list-style-type: none">●構成市と情報共有や意見交換をする会議を定期的で開催することで、施設の円滑な運営を継続します。●刈谷知立みらい電力を通して、ごみ焼却による電力を構成市内の公共施設へ供給するエネルギーの地産地消について学習する小学生向け講座を構成市と協力して開催します。

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針2 地域社会への貢献と住民・構成市との連携の推進

施策6 住民サービスの向上（余熱利用施設、リサイクルプラザKC）

取組⑮	余熱利用施設の長寿命化の推進
内 容	<ul style="list-style-type: none">●老朽化した設備等の大規模改造工事を実施し、施設の機能回復と省エネルギー化を行うことで施設の長寿命化を推進します。●長寿命化総合計画に基づく予防保全型維持保全により、施設の安定稼働を図りつつ、ライフサイクルコストの低減を図ります。
取組⑯	指定管理者制度の活用による利用者サービスの向上
内 容	<ul style="list-style-type: none">●民間企業のノウハウやアイデアを活用し、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応することでサービスの向上とコスト削減を継続して行います。●指定管理者のノウハウを反映した提案事項を実現するためにも、組合による支援と評価を実施します。

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針2 地域社会への貢献と住民・構成市との連携の推進

施策6 住民サービスの向上（余熱ホール、リサイクルプラザKC）

取組⑰	モニタリング制度の強化による管理水準の維持
内 容	<ul style="list-style-type: none">●指定管理者によるセルフモニタリングや組合によるモニタリングを強化し、指定管理業務の適切な評価を実施し、結果に基づいた指導、助言により管理水準を維持します。●次回指定管理者の選定に向けて、選定方法や条件等の見直しを行います。
取組⑱	リサイクルプラザのPRによる利用促進
内 容	<ul style="list-style-type: none">●ホームページやSNS等の広報によるPR活動の強化や、再生補修家具等の取扱品目の見直しを行うなど、リサイクルプラザの活性化による利用者の増進を図ります。

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針3 効率的な組合運営の推進

基本方針	施策	具体的取組
3 効率的な組合運営の推進	7 組合の運営の効率化	19 組合職員の育成と技術継承 20 デジタル技術を利用した業務の省力化、効率化 21 健全な財政運営の推進

2. 基本方針別の施策・具体的取組の説明

基本方針3 効率的な組合運営の推進

施策7 組合の運営効率化

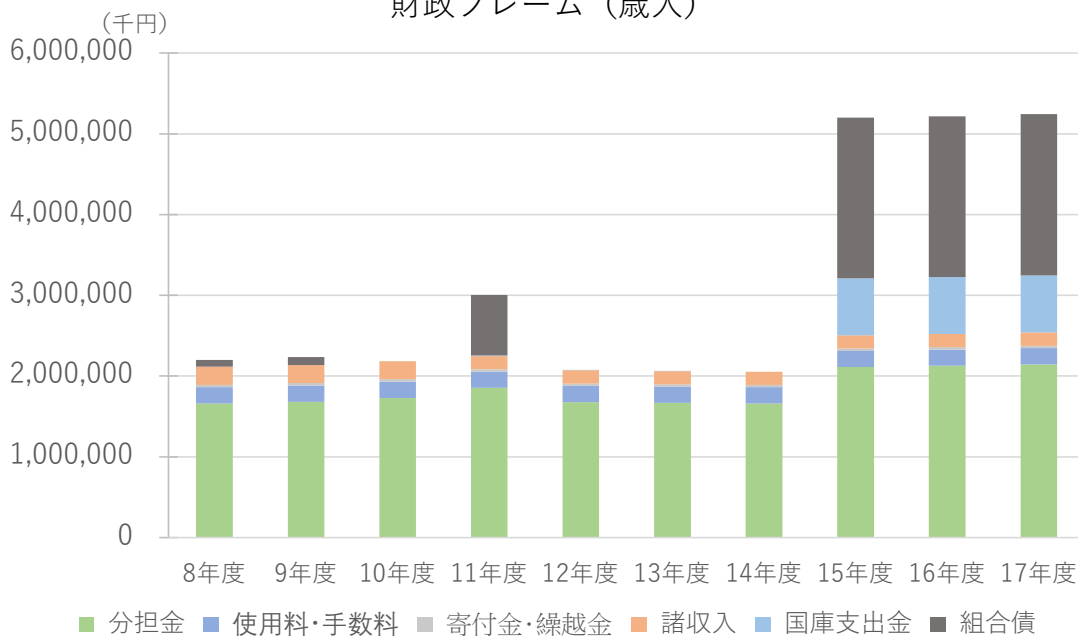
取組⑱	組合職員の育成と技術継承
内 容	●様々な講習会及び構成市が開催する職員研修への参加、並びに安全衛生推進者や廃棄物処理施設技術管理者の資格取得等によりクリーンセンターや余熱利用施設の適正な管理監督に必要な知識の向上を図るとともに、職員の育成と技術継承を行います。
取組⑳	デジタル技術を利用した業務の省力化、効率化
内 容	●各種デジタル技術（情報システムのクラウド化、ペーパーレス化、ごみ処理手数料等のキャッシュレス化）を活用して、業務の省力化と効率化を図ります。
取組㉑	健全な財政運営の推進
内 容	●焼却施設の基幹的設備改良工事や余熱利用施設の大規模改造工事などの大規模工事に対して、国の交付金や地方債の積極的な活用による財政負担の軽減や平準化を行うとともに、組合の自主財源の確保に努めます。

3. 財政計画の説明

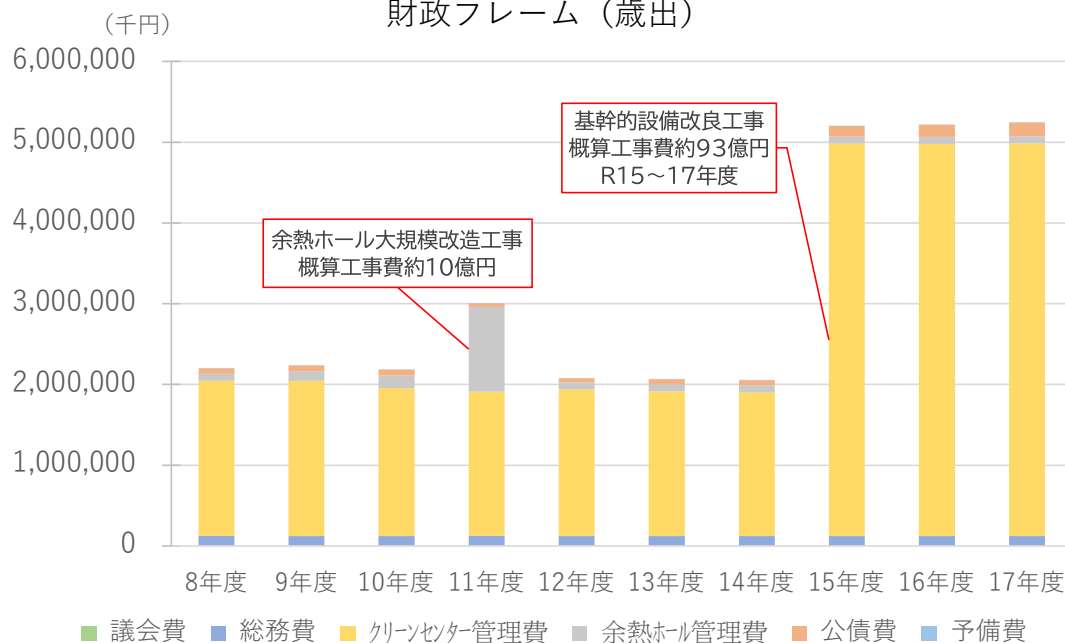
財政計画（計画期間：令和8年度～令和17年度）

■ 計画期間内の財政計画

財政フレーム（歳入）



財政フレーム（歳出）



- ・歳入、歳出ともに、長寿命化計画に基づく大規模な工事による変動が大きい。
- ・その他の歳入歳出は、ほぼ横ばいで見込んでいる。
- 大規模な工事により多額の予算が必要となる。

基金・地方債の活用や複数年での工事実施など、支出の平準化などについて構成市の財政部局と協議する。